

## 2020年第2回理事会議事録

期 日：2020年9月24日（木）～9月30日（水） メール審議

出席者：青木茂樹、内田幸司、江田哲男、大野誠一郎、小倉明夫、笠井治昌、菊地克彦、  
小林靖宏、後藤政実、熊代正行、高橋光幸、寺田理希、土井 司、沼野智一、  
山崎 良、吉丸大輔

### 1. 第16回磁気共鳴専門技術者認定試験について

#### (1) 試験会場 提案：東京と大阪の2会場開催

現状：学校などの大きな公共施設を予約できない。

利点：受験者の移動による感染を最小限にする。

欠点：同時開催の経験がない。

#### ◆ 東京（関東）と大阪（関西）の2会場開催とする

会場収容人数の関係で、受験者の人数制限が生じる可能性がある。

#### (2) 開催時期

#### ◆ 3月中旬とする

理由：換気のために窓を解放することの季節を考慮

8月頃の実施は更新時期や役員改選を考えると難しい

勤務先移動を考えると3月下旬は避けた方がよい

### 2. 認定試験結果に関する審議

試験結果 申請者174人 受験者140人 60点以上34人（合格率24.3%）

不適切問題1題、正答率11%以下の問題が4題あった。

#### ◆ 不適切問題1題を全員加点とし40人を合格とする（合格率28.6%）

理由：正答率11%以下の4題の設問に回答肢を大きく惑わせる問題点はない。

新型コロナウイルスの影響で受験者に偏りがあったのかもしれない。

課題：できるだけ合格率を平滑化できるシステムを構築する必要がある。

試験問題の最終チェックをもう少し多角的に確認した方がよい。

### 3. 認定試験委員会の設置

#### (1) 制度 ・認定試験委員長、副委員長、委員の構成とする。

・上記メンバーで試験問題の作成を行う。

・作成した問題は委員全体委員会で内容を吟味です。

・任期は4年 or 6年とし2年に1度は数名が入れ替わる制度とする。

・理事長とJIRAに依頼のメンバーは理事が代わったときに引き継ぐ。

・認定試験委員会と認定試験実行委員会とは別に組織する（委員の兼務は可）。

<案>・試験編成および内容確認を試験委員の中のコアメンバー（約3名）で行う。

<案>・採点および合格者審議は試験終了後に準コアメンバーで行う。

<案>・認定試験委員会委員長の任期は2年とする。

<案>・委員長の任期と委員の任期は別にする。

<案>・委員は任期終了後期間を開ければ再任可とする。

- ◆ 第16回認定試験から認定試験委員会を設置する  
規約（認定試験委員会細則）を早急に取り決める。

<案>については、第1回認定試験委員会で検討する。

## (2) 委員案

認定試験委員長 内田幸司（情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター）

副委員長 沼野智一（東京都立大学）

試験委員 青木茂樹（順天堂大学）

上山 毅（東京大学医学部附属病院）

笠井治昌（名古屋市立大学病院）

小林智哉（茨城県立医療大学）

小林靖宏（日立メディコ）

佐川 肇（京都大学医学部附属病院）

鈴木 真（久留米大学病院）

高橋順士（虎ノ門病院）

垂脇博之（大阪大学医学部附属病院）

長濱宏史（札幌医科大学附属病院）

畑 純一（東京慈恵会医科大学）

秦 博文（北里大学病院）

山崎 良（天理よろづ相談所病院）

吉丸大輔（理化学研究所脳神経科学研究センター）

就任依頼をするときに試験関連の講習会などに参画しないようにお願いする。

以上

## 追記

今回のメール審議を第2回理事会とさせていただきます。

今回14人/16人の理事から審議案件に対する回答をいただきました。

- ◆印が決定事項です。

ほとんどの理事が提案議案に賛成で修正意見やアドバイスを数件いただきました。

第16回磁気共鳴専門技術者認定試験の準備に入らせていただきます。